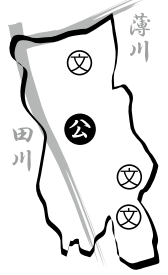


館報

庄内



庄内地区	
平成29年3月1日現在人口	
世帯数	6,830戸
男	7,509人
女	7,483人
合計	14,992人
発行 庄内地区公民館 (ゆめひろば庄内)	
電話 24-1811	
FAX 24-1812	

はじめに

本号で平成28年度最終の館報となります。1年間、私達の周りでたくさんの方の出来事があり、様々な記事を取り上げた一方、掲載できなかった話題もありました。

館報編集委員会の今年度の締めとして、1年の活動を振り返り、委員全員が気兼ねなく、言いたいことを言おうと、座談会を開きました。

各委員は、永年庄内地区に暮らし、何らかの形で町会や公民館運営をしてきたベテランです。話題は公民館が運営する委員会、勉強会、地域活動や日常の課題等、様々な内容が出されました。すると、「あの団体はがんばっている」「次の館報であの活動を記事にしたい」という発言だけでなく、「大体の活動は知っているけれど…」
「そんな団体あったんだ。名前すら知らなかった」という意見も…。

改めて館報は、地域住民に

対し、地区内で行なわれている活動や状況をもっと宣伝して行くべきと感じました。

今回の館報は、それら座談会で出された発言を、各分野に分けて掲載することとしました。お読みになる皆さまにとつては、

「もちろん知っているさー！」
という方や、
「私も知らないんだよね」とお感じになる方もいらっしゃるかもしれません。

安心・安全

「筑摩の認知症カフェが流行っているようだ。月一度開店しているが、毎回満席のよう」
「中央南地域包括支援センターで担当している高齢者の方が来ている」
「その地域包括支援センターはどこにあるの？」
「富士電機体育館の南西側に事務所がある。主に認知症の人への支援活動をしているが、職員一人あたりで何人もの人をみているので、一日中掛け回っているみたい。個別対応が中心で、地域を巻き込んだ

活動はこれからのようだ」
「半年くらい前に孤独死があった。悲しいことだ。もっと地域の一人暮らしの方々へ声をしなければ」
「声かけをしようにも、勝手に家には入れない。おや？と思った時に町会長や警察へ連絡する程度しかできないよ」
「他にも富士物流倉庫で火事が起こったが、すこかった。警察に聞いたら、原因がわからない火事だと言われた」



民生委員

「民生委員と民生児童委員の違いは何？ 民生委員は何をやっているの？」
↓詳しくは裏面に紹介します。

福祉ひろば

「書道、麻雀、ストレッチ等のサークル団体の活動がとても充実しているようだ。ひろば独自の活動はどこまで地区に浸透しているのかな？」
「ひろばに来ている人を対象に取材してみても、感想を聞いてみるのもいいかもしれない」
「職員が事務仕事に追われているように感じるが、実際はどうなのだろうか？」
「介護疲れのストレスを解消するための『介護の集い』があったが、今は『ひろばの集い』へと進化しているようだ」

地域に残る伝統行事

「子供が減り青山様・ぼんぼんを一町会でできなくなりそう」
「最近、三九郎をやるうにも松が足りていないようだ。町会によっては『子供が少ないので、やめてしまえ』と言った意見も出ている」
「昔は三九郎を、七日に立て、十五日の夕方に燃やしていた。今は七日に立ててその日に燃やしている。まだ明るいうちに点火する町会もあるようだ」
「すぐ燃やすなんて情緒がないな。ゆっくり眺めたいよ」
「今は生活環境や世の中の変化で状況が変わってきている」



入園・入学・就職と節目を迎える四月、樹木は芽吹き、弘法山の桜の開花が待ち遠しい季節になりました。

節目といえば、今年還暦を迎える私は、母校で行う還暦の会の参加者を募るために、毎晩同窓生に電話をかけております。子育ても終わり、一番自分の時間が取れるようですが、

「親の介護が始まった」
「孫の世話をしなくては」
「足腰が痛くて」
と、様々な話を同学年の仲間から聞きます。

長寿社会になり、還暦の年と言っても人生まだまだこれからです。気持ちの持ち方一つで人生が豊かになり、明るい気分にもなります。

松本市が掲げる健康寿命延伸都市の如く、まずは健康を維持し、体力を付け、いつ何がおこるか分からない人生、多めに楽しみ、笑顔を忘れず、趣味のサークル活動やボランティア活動を通し、地域の人たちとの交流をさらに深めて、社会勉強をしていきボケないようになりたいと思っております。

(E・N)

もっと知ろう! 庄内地区の身近な問題



詳しくは市HPをご覧ください

松本市消防団 募集中!

公民館とは、人の集う場である。あらゆる世代や職業が公民館で出会い、絆を深め、顔の見える関係を造っていく。そうしていくと、自分の知識が実は他人には全く知られていなかったり、反対に初めて教わる知識もあったりする。出会いとは、驚きの連続だ。

最初はぎこちなかった関係も、段々と仲も深まれば、自然と各々が抱える問題や悩みの話が出てくるものだ。仕事、家庭、子育て、健康、病氣、介護、防災、地域。話し合いを深め、様々な発見や閃きが生まれることもあれば、結局何も分からないまま終わることもある。

今回、館報編集委員会では、そんな日常会話のひとつを取り扱った。

自分ごと? 他人事? 消防団は困ってる...

「この前、息子に消防団勧誘があったぞ。俺が断ったけど」
 「どうして? お前さんも昔は消防団員だったじゃないか」
 「酒飲みばかりで性に合わなくてさ。息子も下戸だし」
 「今はそんなことないぞ。しっかりと活動してる。昔と同じだって決めつけたら、現役の団員はかわいそうだよ」
 「俺が消防やっただから我が家はお役御免さ。他の誰かがやればいいよ。息子は俺の家業継いでいるから勧誘されたのさ。実家暮らしの方が消防団の活動に出やすいからな」
 「それじゃあダメだろ! 今じゃいつどこで大規模災害が起きる」

「班長、今の消防団ってどう思います? 今度、公民館研究集会に参加して、消防のことを色々話し合おうですよ」
 「どうだなあ。団員少ないし、世間の関心も低い。今でも酒飲みばかりって言われるし。災害でも起きなきゃ人の意識は変わらないかもなあ」
 「そりゃ不謹慎です」
 「でも、東日本大震災の後、「自分で何かできることやりたい!」って言って、消防団に入団した人いたみたいだよ」
 「へえ! 災害なくてもそういう

現役団員たちの「コマ

人が大勢いたらいいなあ」
 『みんな他人事さ。入りたくない理由もあるだろうね』
 『仕事が忙しいとか、プライベートを充実させたいとか?』
 『家庭ってこともある。俺の嫁さん、消防行くと機嫌悪くなる。その時間を子育てや家事に充ててほしいだろうな』
 『地元より先に家庭を守らないといけないんですね』
 『みんなの意識もそうだし、制度だって思い切って改革しないと現状変わらない気がするよ』

か分からん。この前、第●●分団の分団長と話したら、消防団OBが再入団してるんだと。団員不足だよ」
 「じゃあ、お前さんの息子はどうなんだ?」
 「それは...無理だよ。うちの子は夜遅くまで仕事だ。昼夜逆転生活で消防団なんてできないよ」
 「じゃあ、お前さんが経営してる会社の若い連中は?」
 『若い奴らが消防に出ると、仕事に影響するんだよなあ』
 『お前だって口ばかりじゃないか。結局、みんな他人事さ』
 『いや、災害は怖いから協力したいんだけどさあ』

庄内地区民生委員・児童委員協議会のご紹介

私達は、町会より選出された民生委員24人と地区から選出の主任児童委員2人で構成され、民生委員は主にお年寄り、主任児童委員は子どもを対象に支援や傾聴の活動をしています。

庄内地区では70歳以上の一人暮らしの希望者の方にヤクルトを持って様子を伺う友愛訪問を30年以上続けており、昨年、社会福祉事業特別功労者として表彰されました。

お年寄りの方は民生委員が伺うのをとても楽しみにしてくださり、見守りや安否確認にもつながっています。

庄内地区民生委員・児童委員協議会が改選されました

民生児童委員の改選期を迎え、12月から新体制でスタートいたしました。退任された方々には長年のご苦勞に感謝申しあげると共に、新任・再任の方々には地域福祉向上のため、ご尽力をお願いします。

- ◎赤羽 薫子(豊田町)
- 池上 佳代(並柳団地)
- 倉科紀美子(出川町第一)
- 水橋 鈴代(南新1、2)
- 伊藤 紀子(逢初町)
- 上田 敦子(新家町)
- 武居 和子(庄内町)
- 松澤 岩男(出川町)
- 中田 春美(出川町)
- 鹿村 光男(並柳)
- 田中 博子(並柳)
- 分部 誠子(並柳)
- 百瀬 紀子(並柳)
- 奥村きみ子(並柳団地)
- 目谷眞知子(並柳団地)
- 岡村 淳子(神田)
- 池田理恵子(神田)
- 竹ノ内みつ子(神田)
- 谷崎 和子(三才)
- 牛山 雅江(筑摩)
- 塩原 直(筑摩)
- 萩原よう子(筑摩東)
- 白井 広美(筑摩東)
- 横内 和子(中林)
- 中嶋 順子
- 久保由美子

※民生児童委員の()は担当地区
 ◎...会長、○...副会長
 ●...主任児童委員